

目標

茨城大学は、「地域創生の知の拠点となる大学、その中で世界的な強み・特色の輝く大学」の構築を目標とし大学改革を進めています。

- 地域社会からより強く信頼され、特色ある教育研究で全国的・国際的に認知される大学になることを目指します。
- 茨城の高い地域ポテンシャルを顕在化させ、新しい地域の力を生み出す役割を担います。
- 様々な機関がそれぞれの強みを出し合い協力・連携する多層的ネットワークを形成し、そのハブとしての役割を果たします。

教育

変化の激しい21世紀の社会に適応し成長し続ける「総合力」をもった人材の育成

- 先端科学技術・産業・社会インフラを支える理工系人材の育成
- 農業産出高全国2位を誇る茨城県の農業を支える人材の育成
- 地域への視点と国際的な視点を併せもった社会の中核人材の育成
- 実践的教員、スクールリーダーとなる教員の育成
- 人材育成目標の実現と教養教育の強化を目指す教育研究組織の改革

研究

強みのある研究分野の強化と成果の発信

- 量子線科学とサステナビリティ学、農学・環境分野という特色ある研究のさらなる発展
- 産業イノベーションにつながる研究や地域志向研究成果の社会還元の実現
- 重点研究、推進研究の見直しによる研究推進体制の強化
- 学内外の共同研究を増加させ、国際的水準の共同研究の展開
- 全学的な研究倫理への取組を計画し、実践する

社会連携 地域貢献

「地域の知の拠点」の強化

- 「地(知)の拠点整備(COC)事業」、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」を始め地域社会と連携した教育・研究を全学的に推進し、地域社会のさらなる活性化に貢献
- 地域産業イノベーションにつながる研究拠点の形成
- 農医連携研究による食生命科学の推進

グローバル化

アジア・太平洋地域をはじめとして、学生と教職員がグローバルに行き交う、世界に開かれた大学

- グローバル・マインドを育む実践的教育の実施
(大学の世界展開力強化AIMSプログラム、英語教育・英語開講授業の強化等)
- 日本人学生の海外経験を後押しする施策の展開(海外派遣学生支援等)
- アジアを中心とした海外の大学との連携による国際教育研究ネットワーク強化
- 留学生受入数および派遣数を増加させるとともに、国際教育体制を整備する

ガバナンス 改革

学長のリーダーシップの下、社会の要請に持続的に応える開かれた大学運営

- 学外意見の活用強化(アドバイザリーボード)、柔軟な人事・給与制度の導入
- 男女共同参画を推進し、性別、国籍、身体的条件など問わず働きやすい環境を作る
- 具体的な数値等に基づいた大学経営分析の強化と活用
- 多様な能力をもつ職員の育成、高度専門職員の配置